

-「映画の街・北九州」だからできる特別授業を初実施-  
**北九州市ゆかりの映画を活用した平和学習を  
はじめて実施します**

北九州ロケ作品

北九州出身俳優主演

戦時下の小倉陸軍造兵廠

北九州市では、映像作品のロケ誘致や北九州国際映画祭の開催を通じ、「映画の街・北九州」ブランドを市内外に広く発信するとともに、昨年「北九州ムービーアカデミー」を開設し、未来の「映画の街・北九州」を支える映画人材の育成にも努めています。

このたび、霧丘中学校2・3年生を対象に、北九州市ゆかりの映画を用いた平和学習を初めて実施します。授業では、映画を通じて平和について学習するとともに、「映画の街・北九州」についても理解を深めてもらうことを目的としています。

つきましては、この件について、是非取材をしていただきますようお願いいたします。

【日時】 令和8年7月3日(金) 13時25分～15時15分予定(5・6限目)

【場所】 北九州市立霧丘中学校(小倉北区黒原三丁目 17 番1号)

※3年生の教室を取材対象として指定させていただきます

【内容】 ゆかりの映画「ぼくは風船爆弾」(※特別編集)を各教室で鑑賞し、戦争や平和について中学生が学習します。 ※冒頭に、監督から中学生に向けた特別メッセージを挿入

### ●作品概要

<作品> ぼくは風船爆弾(2025年 約79分)

<監督> 松村克弥

<出演> 松藤百香(北九州市出身)、ナイツ塙、柴田理恵など

<概要> 第二次世界大戦、日本が米本土を攻撃するため小倉陸軍造兵廠などで製造された風船爆弾をテーマにした作家・故 高橋光子氏の自伝的小説『ぼくは風船爆弾』を実写ドラマとドキュメンタリーで映像化した作品。



### ●作品と北九州市とのつながり

- ・北九州フィルム・コミッションの支援による市内ロケ実施(「平和のまちミュージアム」「大手町公園」)
- ・北九州市出身・松藤百香さんが主演を務める。
- ・第2次世界大戦時に北九州市の小倉陸軍造兵廠でも風船爆弾が製造されていた。

【本リリースに関するお問合せ】

都市ブランド創造局 MICE・メディア芸術課

担当：藤田(課長)、蔭浦(係長) 電話：093-551-8152